

月刊 さいとう健けん

LIBERAL & DEMOCRATIC

自由民主

発行所：自由民主党本部 定価1部110円（税込）毎週火曜日発行
住所：〒100-8910 東京都千代田区永田町1-11-23
電話：03-3581-6211（代表） ホームページ：<https://www.jimin.jp/>

《 ミニプロフィール 》

昭和34年、小さな写真屋に生まれる。

大学時代は、ハンドボール部のキャプテンとして活躍。

零細企業に育ったこともあり、中小企業を担当する通商産業省に入省。

日米交渉や行政改革、地方行政（埼玉県副知事に出向）などに携わる。

平成18年衆議院千葉七区補欠選挙にて公募により選ばれるも、惜敗。

平成21年衆議院総選挙において、初当選。4期目。環境大臣政務官、党副幹事長、党農林部会長、農林水産副大臣、農林水産大臣を経て、現在、衆議院予算委員会理事としてコロナ対策などに奮闘中。

〔趣味〕 ハンドボール、カラオケ、読書、映画

〔好きな食べ物〕 ラーメン、焼肉（特にカルビとハラミ）

〔尊敬する人物〕 高杉晋作、原敬、鈴木貫太郎



4月号

「子育て支援にアクション！」

百の言葉より、ひとつの前進。さいとう健はそう心がけています。

さいとう健の地元には、新しく住み始めた子育て世代の方々がたくさんおられます。

今、家庭や学校で、また地域で、こどもたちの命や安全に関わる事態が深刻化してきてます。

コロナ禍にあった昨年、児童虐待により死亡した事例は過去最高の61人になりました。自ら命を絶った児童も500人にのぼろうとしています。

こどもたちにシワがよるのはかわいそすぎます。

そんなわけで今回は、こどもに関して、さいとう健が起こしている3つの具体的なアクションについてご報告します。

1. さいとう健は「こども宅食」に政府備蓄米を提供することを実現しました！

新型コロナウイルスによって、「こども食堂」の開催が難しくなっていますので、今、「こども宅食」という意欲的な試みがボランティアで行われています。困っているご家庭に宅配のように食材や食事を届け、同時に、悩みを聞いて、必要があれば行政につなげようというものです。

新型コロナウイルスによって、子育て家庭の生活環境が悪化し、女性や子どもの自殺・ストレス・鬱などが増えるなど、とても悲しい状況ですから、これは本当に大切な試みだと思います。

政府は、備蓄しているお米を、従来から「こども食堂」の方々には無償で提供しておりましたが、この「こども宅食」には提供できないというのです。

むしろ、宅食の方こそ、今の御時世重要となっているのに、なんだと。これは直さねばならない。ところが、備蓄米を担当している農水省に働きかけても、なかなか動かない。

そこで、国民の常識に沿った政治を標榜しておられる菅総理の前で、農水省の矛盾について農水省に迫ろうと、昨年11月25日の衆議院予算委員会で、農水大臣に迫りました。

その後も、しつこく働きかけた結果、本年2月1日から、一団体最大で年間300キロまでの備蓄米が、「こども宅食」に取り組んでおられる皆さんに差し上げられることになりました。

小さな一歩ではありますが、困ったご家庭が少しでも元気になっていただけたらと念じています。



衆議院の予算委員会で、こども宅食への政府備蓄米の提供を厳しく求めました。

詳しくは

<https://kokkai.ndl.go.jp/#>

で、「2020年」「11月25日」「衆議院」「予算委員会」と打ち込んで、ご覧下さい。

2. さいとう健はいわゆる「ひきこもり問題」を前進させます！

いわゆる「ひきこもり」とされる方の人数は、15歳から39歳で約54万人、40歳から64歳まででは約61万人、合計115万人と推計され、増加傾向にあり、年齢も上がってきています。周囲の方々の悩みも深く、対応も容易ではありません。

政府も自治体と協力して、全国67ヶ所に「ひきこもり地域支援センター」を設置するなどしてありますが、十分とは言えません。まだまだ社会の偏見や無理解もあると思いますし、したがって、相談したくてもできない方々も多いと思われます。

簡単な話ではありませんが、さいとう健は、いわゆる「ひきこもり」の状態となってしまった人に寄り添いながら支援して、成功した事例などを共有していくことが大事だと考えています。

そこで、自民党の「いわゆる『ひきこもり』の社会参画を考えるプロジェクト・チーム」の座長代理を務めることとし、現在、現場で必死に取り組んでいる方々の生のご意見を精力的にうかがっております。まもなく国がやるべきことを取りまとめることとしており、政府を動かしていくつもりです。

3. さいとう健は「こども行政」を具体的に強く前進させます！

さいとう健は、こどもに関心が向いている今こそチャンスだということで、自民党の「Children Firstの子ども行政のあり方勉強会」の議論を主導して、3月19日（金）には緊急提言をまとめました。提言の主な内容を踏まえ、さいとう健の意見をご紹介しますと以下の通りです。大胆な内容ですが、これから政府に働きかけて、少しでも前進させていくつもりです。



将来が大きく開かれているこどもたちに、国会見学の際に、選挙の重要性など、直接語りかけていきます。

1. こどもに関わる行政は、いじめや虐待、自殺や不登校、教育格差、貧困、DV、非行など各省にまたがっています。これを一元的に把握して、医療、教育、福祉、警察など省庁横断で連携よく一貫したこども政策を遂行できる「こども庁」のような組織をつくるべき。
2. こどものSOSを全国どこでも受け止めるワンストップ相談体制の確立。
3. 不妊治療を含む、妊娠・出産に関する費用助成の拡充や、産婦人科医・小児科医・助産師等による、産前・出産・産後の継続ケアの強化。
4. 放課後児童クラブや放課後子ども教室の一元的な運用やベビーシッターの普及を進め、子育てがキャリアパスの障害とならない雇用環境の確立。
5. こどもに関わる職業の者が無犯罪証明書を取得できる仕組みの導入。また、こどもの悲しい事故の予防のために、専門家によるこどもの死亡事故検証の制度化。
6. こどもと家族が喜びや悲しみを安心して分かち合える「こどもホスピス」の実現と、少しでも負担を減らすために、小児がんへの介護保険適用。

さいとう健メルマガでは、最新の政策動向などを、ご登録を頂いている皆様へ随時お知らせしております。登録ご希望の方は、さいとう健ホームページよりご登録頂けます。ご不明な点は下記事務所までお問い合わせ下さい。



さいとう健 Youtubeチャンネルはこちら↓
<https://www.youtube.com/channel/UCepmkUbjMHtfKGVPkxN7bag>
必見！「さいとう健 誕生ストーリー」はおもしろいゾ。

さいとう健 後援会事務所(流山おおたかの森駅 北口すぐ)
〒270-0119 流山市おおたかの森北1-5-2セレーナおおたかの森2階
TEL: 04-7190-5271 FAX: 04-7190-5272 E-mail: info@saito-ken.jp

さいとう健 国会事務所
〒100-8981 千代田区永田町2-2-1衆議院第一議員会館822号室
TEL: 03-3508-7221 FAX: 03-3508-3221

さいとう健
ホームページは
<https://www.saito-ken.jp>

